

脳神経内科に受診中の患者さんへ

臨床研究の実施に関するお知らせ

現在脳神経内科では、下記の臨床研究を実施しております。

この研究では、患者さんの日常診療で得られた試料・情報を利用させていただきます。

ご自身の試料・情報がこの研究に利用されることについて、異議がある場合は、試料・情報の利用を停止することができます。ただし、すでに研究結果の解析が終了し、公表されている場合などに、あなたの情報のみを取り除くことができない可能性もあります。研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身の試料・情報がこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

●研究課題名

Autoimmune glial fibrillary acidic protein astrocytopathyにおけるSoluble Interleukin-2 receptor α の検討

(Soluble Interleukin-2 receptor α in the pathophysiology of Autoimmune Glial Fibrillary Acidic Protein Astrocytopathy)

●研究の目的

近年提唱された自己免疫性髄膜脳炎であるAutoimmune glial fibrillary acidic protein astrocytopathy (GFAP-A) について、Soluble Interleukin-2 receptor α (sIL-2R)の臨床的意義及び病態との関連を明らかにし、より良い診療につなげることを目的としています。

●対象となる患者さん

2020年1月から2025年9月まで当院入院治療を行ったGFAP-A患者さんが対象となります。また2024年1月～2025年4月に当院において髄液検査を実施し、髄液および血清sIL-2Rが測定された非炎症性神経疾患患者さんの一部が有症状対照群として対象となります。加えて、2014年1月～2025年7月に当院において脳炎急性期に対して入院治療を行った自己免疫性脳炎患者さんのうち、最終診断がGFAP-Aではない方の一部が疾患対照群として対象となります。

●研究予定期間：2025年10月7日※から2027年3月31日まで

※ただし、病院長の許可日以降に開始します

●研究機関の長：神戸市立医療センター中央市民病院 病院長 木原康樹

●使用させていただく試料・情報

- ・年齢、性別、身長、体重
- ・病名(併存症含む)、重症度
- ・症状、身体所見、臨床経過
- ・検査結果(血液検査、髄液検査など)
- ・処方薬剤(投与量、投与期間など)
- ・脳波検査結果
- ・CT、MRI等の画像 等

●個人情報の取り扱いと倫理的事項

研究に利用する試料・情報は、患者さんを直接特定できる情報(お名前やカルテ番号など)を削除し加工しますので、当院のスタッフ以外が当院の患者さんを特定することはできません。

この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その場合でも上記のとおり加工していますので、患者さんのプライバシーは守られます。

なお、この研究は、国の定めた指針に従い、当院の研究倫理審査委員会の審査・承認を得て、病院長の許可のもと実施しています。

●研究機関（情報管理責任者）および問い合わせ先

神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経内科

研究責任者 春名 孝太郎

住所：神戸市中央区港島南町 2 丁目 1-1

電話：078-302-4321

2025 年 10 月 7 日作成 第 1.0 版